



旅客船における バリアフリー化推進セミナー@福岡

写真は、バリアフリー施設整備助成を活用した船舶「さんふらわあ くれなゐ」(株式会社商船三井さんふらわあ)

共生社会を実現するため、“誰もが使いやすく”という視点で、施設やサービスを作り上げることが求められます。特にハード面は、一度整備すると、容易に改善できないことも多く、設計段階から障害当事者の参加や、利用を想定したきめ細やかな配慮が重要となります。

本セミナーでは、当事者参加の意義や意見の取り入れ方、九州における交通バリアフリーの現状などを共有し、旅客船を中心に、公共交通における当事者参加のあり方を考えます。

日時

2025年**6月5日**(木)
15:00～17:00

会場

JR博多シティ
10階大会議室(A+B)

(福岡市博多区博多駅中央街1番1号 JR博多駅 博多口)

プログラム概要

【基調講演】

施設整備における当事者参加の必要性

DPI 日本会議 副議長

／NPO法人ちゅうぶ 代表理事 **尾上 浩二 氏**

九州における交通バリアフリー化の
実態と当事者参加の現状

NPO法人自立支援センターおおいた

理事長 **後藤 秀和 氏**

旅客船におけるバリアフリー化の課題

復建調査設計株式会社

福岡 浩人

質疑応答・助成制度等のご紹介

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

公益財団法人 九州運輸振興センター

【主催】  公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

【共催】 九州旅客船協会連合会
公益財団法人九州運輸振興センター

【問合せ】 復建調査設計(株) 総合計画部
交通まちづくり課 (担当: 福岡)

E-mail ; bf6seminar@fukken.co.jp

電 話 ; 050-9002-1750

プログラム詳細

- 15:00 **開会挨拶・趣旨説明** 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団
- 15:10 **【基調講演】施設整備における当事者参加の必要性**
DPI 日本会議 副議長／NPO法人ちゅうぶ 代表理事 尾上 浩二 氏
障害者も快適に移動できるインクルーシブ社会の実現のために、施設整備では何が課題で何が必要か、障害当事者の代表として全国各地を訪ね、内閣府のアドバイザーとしても活躍されている経験も踏まえご説明いただきます。
- 15:50 **九州における交通バリアフリー化の実態と当事者参加の現状**
NPO法人自立支援センターおおいた 理事長 後藤 秀和 氏
大分県別府市において、障害当事者の自立支援やバリアフリー観光情報の発信に取り組むほか、国土交通省移動等円滑化評価会議九州分科会の委員として活躍。さんふらわあターミナル(別府)の整備に関わった経験も踏まえ、九州における交通機関や施設のバリアフリーの現状、当事者参加の取組みについてご紹介いただきます。
- 16:20 **旅客船におけるバリアフリー化の課題** 復建調査設計株式会社 福嶋 浩人
近年建造された旅客フェリー3隻の調査結果をもとに、見落とされがちなバリアフリーに関する整備・運用面の問題点をご紹介します。
- 16:40 **質疑応答・助成制度等のご紹介** 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団
発表内容についての質疑応答を通して理解を深めるとともに、財団の助成制度や旅客船研修等についてご紹介します。
公益財団法人 九州運輸振興センター
2024年度に日本財団の支援により作成した「旅客航路事業者における障害のあるお客様への合理的配慮に関する事例集」についてご紹介します。
- 17:00 **開会挨拶** 九州旅客船協会連合会 専務理事 金平 成市 氏

対象 公共交通事業者、旅客船の設計・建造に関わる方、行政担当者、障害者団体、バリアフリーの取組にご興味がある方。
お気軽にご参加ください。

定員

50名

※会場参加のみ。
先着順とさせていただきます。

お申込方法

bf6seminar@fukken.co.jp 宛に、①氏名、②メールアドレス、③貴社名(団体名)、④参加者(全員)をご記入の上、送信ください。

【募集〆切】 **2025年5月29日(木)**

【情報保障】 文字通訳や手話通訳などの情報保障が必要な場合は、**5月22日(木)までに**、その旨の記載を加え、お申込みください。

会場アクセス

中央エレベーターまたは阪急百貨店側エレベーターより10階へお上がり下さい。

